

講義コード	1BD0200001
講義名称	テクノロジーとイノベーション <春>
科目英文名	Technology and Innovation
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2720
単位数	2.0
時間割	春学期: 月曜日 3時限
講義開講時期	春学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 大村 鍾太	月曜2限	ohmura@andrew.ac.jp	5H

授業形態	講義	アクティブラーニング	実務経験のある教員による授業① システムエンジニアとしての経験を持つ教員が、最新テクノロジーとビジネスへの適応について解説する
------	----	------------	--

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。	
	小レポート/小テスト	宿題(演習問題、e-learning等)

講義・演習概要	<p>テクノロジーの進化によって生まれたビジネスプロセス及びビジネスモデルでのイノベーションを学ぶとともに、今後のイノベーションの鍵と考えられている最新のテクノロジーについても学ぶ。これらの理解に基づいて、テクノロジーがどのように社会を変革しうるか、そのメカニズムと影響を多面的に分析・考察する力（洞察力）を養うことを目指す。</p> <p>生成AI、IoT、メタバース、などの最新テクノロジーや、ネットとリアル融合、デジタルマーケティング、デジタルビジネスモデル、DXなどのビジネスに関わるトピックを学ぶ。</p> <p>詳しい運営については授業開始時に説明する。MS teamsを活用しながら、対面、オンデマンド、遠隔を組み合わせる予定なので、必ず第1回目の授業への参加、またWebClassのアナウンスを確認すること。</p>
学習（到達）目標	<p>この授業を通して以下の力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 課題解決に必要な幅広いテクノロジーに関する知識 今後も生まれ、変化するテクノロジーを知り、変革する力を多面的に理解するための洞察力 テクノロジーを用いてイノベーションを生み出すための応用力

講義・演習計画

回	内容
第1回	【対面】 デジタルトランスフォーメーション
第2回	【対面】 デジタル技術
第3回	【対面】 デジタルビジネスモデル
第4回	【対面】 オペレーショナル・エクセレンスとデジタル化
第5回	【対面】 AIとデータドリブン経営
第6回	【対面】 生成AIと社会的インパクト
第7回	【対面】 モバイル技術
第8回	【対面】 IoT
第9回	【対面】 ブロックチェーン、Web3、メタバース
第10回	【対面】 スマート社会
第11回	【対面】 スマートリテール
第12回	【対面】 デジタル倫理
第13回	【対面】 スマートシティ
第14回	【対面】 デジタルものづくり
第15回	【対面】 イノベーションと未来展望

成績評価の方法（コメント）	個人課題：70%、授業全体における参加度と貢献の質：30% 毎授業の課題がある。また対面、オンデマンド、遠隔を組み合わせる予定なので、必ず第1回目の授業への参加、またWebClassのアナウンスを確認すること。
事前および事後学習の指示	事前学習：授業タイトルについてWebで調べ基礎知識を得ておくこと。 事後学習：学んだ内容が今後の社会変革にどのように関わるのか考えること。 ※課題については授業で指示する。
その他備考（担当教員用）	上記「授業計画」については、第1回の授業で詳しい説明がある。なお、授業計画は予定であり変更を行う場合がある。